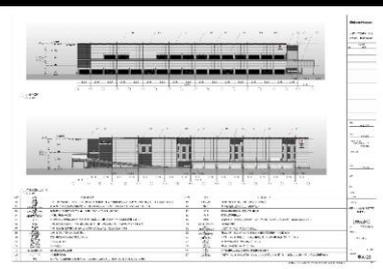


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)Dプロジェクト伊勢原	階数	地上4F
建設地	神奈川県伊勢原市下糟屋字田島崎1520番地(保留地:伊勢原市東部第二土地区画整理事業10街区1画地)	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	450 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年12月 予定	評価の実施日	2020年4月9日
敷地面積	28,869 m ²	作成者	大和ハウス工業株
建築面積	17,369 m ²	確認日	2020年4月10日
延床面積	62,290 m ²	確認者	大和ハウス工業株



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
オール電化の物流倉庫 高効率の設備機器を使用し、省エネ化を図っている。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管材を使用し長寿命化を図る。 階高3.9m以上を確保、壁長さ比率を0.1未満に抑え、空間の自由さと更新性を確保。	Q3 室外環境 (敷地内) 緑地を設けている。
LR1 エネルギー BEIm=0.33	LR2 資源・マテリアル 再利用可能な部材を使用。 ビニル床タイル・シート用接着剤には有害物質を発生させない建材としている。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用せず、大気汚染を防止

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される